

熊本学園大学×くまかい協同組合 大学生と技能実習生が交流 JICA(国際協力機構)パイロット事業を展開

熊本学園大学外国語学部塩入すみ教授(専門:日本語教育)が担当する「日本語教授法Ⅱ」の授業で、JICA(国際協力機構)が実施する、パイロット事業を展開しています。これは大学生と外国人材(技能実習生)の交流機会を促進することを目的とする事業で、海外人材の受入れをサポートするくまかい協同組合(熊本市東区)との連携により一定期間、本学学生と技能実習生が日本語で交流することにより、実習生の日常生活の充実化と日常会話のレベル向上に貢献し、学生に日本語教育実践の場を提供するものです。実習生は、フィリピン(10人)、ミャンマー(9人)、ベトナム(3人)から来日し、桜十字グループに入職を予定しています。



10月に開催したオンライン交流会の様子

学生は、これまでに実習生とオンラインで交流しており、12月に対面での顔合わせやフィールドワークを行います。最終的に実習生は日本語で「私の見た日本」をテーマに、学生は実習生の出身国などについて発表を行います。また、この授業は、日本語教員養成課程の授業でもあり、参加学生は日本語教員をめざしています。1月には振り返りを行い、SNSや対面での継続的な交流を行う予定です。よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

取材ご希望の方は必ず事前にご一報いただきますようお願いいたします

<大学生と実習生の交流スケジュール>

- 開催日 2022年12月1日、8日、15日、22日の毎週木曜日 13:00~14:30
- 場所 くまかい協同組合(熊本市東区三郎1-12-87)
※22日(木) はびぶれすイノベーションスタジオ(熊本市中央区上通町2-17)
- プログラム 12月1日 顔合わせ
8日 フィールドワーク(スーパーで買い物)
15日 発表の準備
22日 発表会
- 参加者 大学院生2名、学部生20名ほか
※1日、8日、15日は5~8名ずつ参加
22日は全員参加

本リリースについてのお問合せ
 熊本学園大学 広報室 TEL:096-364-8722(直通)
 Mail:koho-kgu@kumagaku.ac.jp

